

【プロジェクト名】理科指導力向上研修プログラム

1 プロジェクトの目的・概要

児童・生徒の理科嫌い・理科離れが問題とされる中で、指導する教員の理科指導に対する苦手意識も問題である。教員の“実験の経験不足あるいは安全性への不安感”が理科実験を敬遠させているのではないか、という課題が浮かび上がっている。このような問題に対応するために、学部内の理科関係の講座に所属する教員が現職教員向けの研修をおこなった。当初は独立行政法人科学技術振興機構の予算を獲得して、大学独自の企画として始まったが、参加者の確保が困難であり、教員の理科指導力を向上させる効果に課題があった。それを克服するために、佐賀県教育センターにおける悉皆型の「安全な理科実験・観察の指導研修」への協力事業に発展させた。

本プロジェクトは理科学習における観察・実験を、安全に行うための基礎的かつ基本的な事項について理解を深め、知識技能の習得を目的としている。佐賀県採用2年目の小学校の教員、中学校理科教員、特別支援中学部理科教員、高等学校理科教員、特別支援学校高等部理科教員を対象に行っている。

また、学部の理科教員は希望型の研修の講師としても協力を行なっている。更に2015年度からは佐賀県教育庁学校教育課の「外部人材を活用した小学校における科学教室」に全面的に協力する形で、県内の多くの小学校に講師として出向いて、小学生を教えながら現場教員にもアドバイスを行ってきている。

2 2020（令和2）年度の状況について

2019年度まで、中学校と高校の初任者を対象に実施してきた「安全な理科観察・実験の指導研修」を、2020年度より、中学校・高校の初任者・採用2年目教諭を対象とした「中・高新任理科教諭研修」に変更した。変更後も、教育学部の理科関係教員7名が、変更後の内容に合わせながら協力して実施する予定であった。

しかし、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行に伴い、わが国でも令和2年4月7日、政府対策本部長から緊急事態宣言が出された。当初、緊急事態措置を実施すべき期間が令和2年4月16日から令和2年5月6日までとされたため、5月12日開催を視野に準備してきたが、令和2年5月4日、緊急事態措置を実施すべき期間が令和2年5月31日まで延長されたため、今年度の開催を中止した。

3 2021（令和3）年度の実施について

2021年度以降は「中・高新任理科教諭研修」として、教育学部の理科関係教員が協力して実施する予定である。2020年度末に教員2名（物理、生物各1名）が退職するため、5名（物理、化学、生物各1名、地学2名）による協力となるが、さらなる内容の向上を図る。